

ご挨拶

北海道大学脳科学研究教育センター長

井上芳郎

文部科学省のRR2002プロジェクト(15-18年度)の支援を受けて、平成15年9月に北海道大学脳科学研究教育センター及び発達脳科学バーチャル専攻が設立されました。本センターは、自然科学(医学, 歯学, 薬学, 理学, 工学)と人文系科学(教育学, 心理学, 言語学)の異領域分野の研究者で組織し、融合的な脳科学研究を推進するとともに、脳科学を総合的に教育研究できる人材を養成するための大学院教育を目指して設立されました。今回、設立を記念してシンポジウムを開催する運びになり、本センターが推進する3研究課題を柱に、「前頭葉と脳計測」「行動発達とそのモデル」「神経回路の発達と臨界期」の3つのテーマを設定しました。このテーマにふさわしい新進気鋭のコロラド大学心理学科のRandoll O'Reilly教授とYuko Munakata教授及び日本の脳科学研究推進者の中核におられる大阪大学の津本忠治教授に招待講演のご快諾をいただきました。遠方からの、また、ご多用の中でのご参加を心よりお礼申し上げます。また、本センター及び関連研究領域からも当該分野の第一線で活躍している研究者に講演をお願いしました。本センターが融合的な脳科学研究教育を進める上で、また、発達脳科学を専攻する学生に取りましてもこの上ないシンポジウムになることを確信しております。